

14 皮膚科研修プログラム

プログラム責任者:森 誉子

1. 到達目標

A) 一般目標

皮膚科における診断と治療に必要な基本的知識、基本的技術を習得し、的確な診療記録を作成できる。また、患者及び家族とのより良い信頼関係を確立し、医療スタッフとも協調して仕事ができる。

B) 行動目標

- (1) 皮膚科領域における基本的な身体所見、病態の正確な判断ができるように以下の診察法を実施する。
 1. 発疹の性状、形態、分布を正確に記載できる。
 2. 適切な現病歴が記載できる。
- (2) 基本的臨床検査
 1. パッチテスト、真菌直接鏡検法を自ら検査を実施し、結果を解釈できる。
 2. 皮膚生検を指導医のもとで実施し、病理結果を解釈できる。
- (3) 基本的手技
 1. 外用療法(外用量、部位別外用剤の適応、適切な塗布方法など)を判断し、処置を実施できる。
 2. 熱傷処置の方法を選択でき、実施できる。
 3. 皮膚切開排膿が実施できる。
- (4) 各疾患の治療法
 1. ここの発疹の状態に応じてステロイド外用剤や抗真菌剤、抗菌外用剤、保湿剤、抗潰瘍剤などを適切に使用することができる。
 2. 光線療法の適応を理解できる。
 3. 液体窒素療法の適応疾患を理解し、実施できる。
 4. 接触免疫療法の適応疾患を理解し、実施できる。
 5. 皮膚外科手術を指導医のもとで実施できる。

2. 方略(On the job training(OJT))

- (1) ローテート開始時に指導医、上級医と面談し、自己紹介、研修目標の設定を行う。ローテート終了時には評価表およびフィードバック面談シートの記載とともにフィードバックを受ける。
- (2) 外来における研修
 1. 指導医または上級医の診察に立ち会い、診察方法、検査の適応、薬物療法、処置方法、患者への生活指導法について修得する。
 2. 指導医または上級医のもとで手術手技を修得する。
- (3) 病棟における研修
 1. 担当医として入院患者を受け持ち、主治医の指導のもとに治療計画に参加し、診察、検査、患者への説明を行い、毎日回診する。

- 2. インフォームドコンセントの方法を学び、主治医の指導のもと自ら行う。
- 3. 褥瘡回診に参加し、褥瘡の評価、ポジショニング、薬物療法について修得する。

(4) カンファレンス

- 1. 担当患者の症例提示を行い、診断治療についての議論に参加する

(5) 皮膚科に関連する学会・研究会

- 1. 適宜、学会や研究会などの勉強会に参加する。

3. 評価

- (1) 研修医は、EPOC2 の研修医評価表で、臨床研修到達目標項目の自己評価による研修達成度評価を行い、ローテート終了時に自己評価記載を完了する。指導医は、同評価表の研修医自己評価を確認し、当該ローテート研修の指導医評価記載を完了する。指導医による評価結果は EPOC2 上でフィードバックされる。
- (2) 臨床研修指導医は、EPOC2 上で診療・手技・患者マネジメントについて適時評価を行う。
- (3) 臨床研修指導医または上級医は、本カリキュラムの行動目標のすべてに対する観察を行い、ローテート面談を適宜実施し、形成的評価をフィードバック面談シートに記録する。ローテート終了時の面談では、適宜看護師などの指導者も入り、総合的評価のフィードバックを行い、フィードバック面談シートに記録する。
- (4) 臨床研修指導医は、研修医が作成した病歴要約により、経験すべき症候、疾病、病態に関する理解度について WPOC2 上で形成的評価を行う。
- (5) 上記評価の上、次のローテーションで何を学ぶべきかなど、目標達成の方向性を見出せるように省察の時間をもち、話し合いを行う。

4. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修
午後	処置、検査 手術 病棟回診	褥瘡廻診 病棟回診	処置、検査 手術 病棟回診	爪外来 病棟回診	処置、検査 病棟回診 カンファレンス